

令和3年度 朝日町教育委員会
事務事業点検・評価報告書
(令和2年度分)

令和3年8月

朝日町教育委員会

目 次

I. 朝日町教育委員会事務事業の点検及び評価について	1
1. 制度の概要及び目的	1
2. 点検及び評価の対象事業	1
3. 点検及び評価の方法	1
4. 学識経験者の知見の活用	1
II. 令和2年度教育委員会活動状況	2
1. 教育委員の選任状況	2
2. 教育委員会会議開催状況	2
3. 教育委員学校訪問	5
4. 各種会議、大会、研修会等への参加	5
III. 外部評価委員の意見	8
1. 総括	8
2. 教育委員会の活動について	8
3. 事務事業の点検・評価について	8
4. 今後の事務事業の企画運営にあたって	8
IV. 点検及び評価対象事業一覧	11
V. 事務事業点検・評価調書	12
整理番号 1 ～ 35	

I. 朝日町教育委員会事務事業の点検及び評価について

1. 制度の概要及び目的

平成 19 年 6 月、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（平成 20 年 4 月 1 日施行）」の一部改正以降、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表しなければならないことになりました。

また、この点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

これを受け町教育委員会では、効率的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対する説明責任を果たすため、令和 2 年度に行った事務事業について、3 名の外部評価委員（朝日町教育事務評価委員）の意見をいただきながら検証し、その結果を報告書としてまとめることとしています。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検及び評価の対象事業

令和 2 年度に実施した朝日町教育委員会所管 35 事務事業のうち、全ての事務事業を対象に点検及び評価を行いました。このため当該年度分の対象率は 100%となっています。また、本年度は第 2 次朝日町教育振興計画の主要施策に関連する事業を選定して、より具体的な意見を外部評価委員からいただきました。

3. 点検及び評価の方法

各事務事業については、「必要性」及び「効率性・有効性」の観点で所管課の自己点検及び評価を行い、全ての事務事業について調書を作成しました。この結果に対して、より客観性を確保するために、外部評価委員より意見をいただきました。

4. 学識経験者の知見の活用

3 名の学識経験者を外部評価委員として「朝日町教育事務評価委員」に委嘱し、点検及び評価の内容についてご意見をいただき、報告書に反映しました。

朝日町教育事務評価委員

氏 名	役 職 名 等
真 木 吉 雄	元 山形大学大学院教育実践研究科 教授
高 橋 さだ子	有 識 者
菅 井 道 也	有 識 者

II. 令和2年度 教育委員会活動状況

1. 教育委員の選任状況（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

職	氏名	備考
教育長	小林 道和	
委員	五十嵐 義一	職務代理者
委員	井上 幸弘	
委員	村山 千鶴	令和2年9月30日まで
委員	橋間 博美	
委員	海野 睦	令和2年10月1日から

2. 教育委員会会議開催状況

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
令和2年 4月24日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 区域外就学の許可について ② 令和2年度小中学校職員及び事務局職員事務分担について ③ 令和2年度朝日町校長会活動方針及び研修課題等について ④ 令和2年度朝日町教育研究所運営方針について ⑤ 令和2年度朝日町成人式について ⑥ 第65回山形県縦断駅伝競走大会について ⑦ 令和2年度中学生海外派遣事業の応募状況について
	附議	議第6号 令和2年度朝日町教育支援委員会委員の委嘱について 議第7号 朝日町社会教育委員の委嘱について 議第8号 朝日町立中央公民館運営審議会委員(兼)朝日町立中部公民館 運営審議会委員及び朝日町立西部公民館運営審議会委員並び に朝日町立北部公民館運営審議会委員の委嘱について 議第9号 朝日町スポーツ推進委員の委嘱について
	協議	1. 学校訪問、あさひ保育園訪問について 2. 教育委員研修会について 3. 中学校用図書選定に係る西村山地区教科用図書採択協議会への委任及び 委員の指名について 4. 令和2年朝日町教育委員会5月定例会の日程について
令和2年 5月22日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 区域外就学の許可について ② 5月15日臨時議会補正予算及び6月補正予算の概要について ③ 令和2年度西村山地区中学校駅伝競走大会について ④ 令和2年度朝日町小学校陸上競技記録会について (小体連理事会で中止と決定したことを報告) ⑤ 令和2年度海の子山の子交流事業について ⑥ 令和2年度朝日町小学校水泳競技記録会について (小体連理事会で中止と決定したことを報告)
	協議	1. 令和2年朝日町教育委員会6月定例会の日程について

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
令和2年 5月22日 総合教育会議	協議	1. コミュニティ・スクールの推進及び保小中連携一貫教育について 2. 臨時休業に伴う教育課程の変更について 3. 意見交換
令和2年 6月25日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ① 令和2年度中学生海外派遣事業の進捗状況について ② 第23回ひめさゆり俳句大会の実施について
	附議	議第11号 朝日町立小中学校管理運営規則の一部を改正する規則の制定について 議第12号 令和2年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
	協議	1. 令和2年度西村山市町教育委員会連絡協議会理事の選出について 2. 令和2年朝日町教育委員会7月定例会の日程について
令和2年 7月27日 定例会	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ① 令和2年度NRT検査結果について ② 令和2年度朝日町教育支援委員会について ③ 令和2年度小中学校運動会について ④ 創遊館空調設備改修工事スケジュールの概要について
	附議	議第13号 令和3年度使用教科用図書採択について
	協議	1. 令和2年朝日町教育委員会8月定例会の日程について
令和2年 8月25日 定例会	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ① 令和2年度8月11日臨時議会補正予算及び9月補正予算の概要について ② 工事等の発注状況について
	附議	議第14号 令和2年度朝日町教育委員会事務事業点検・評価(令和元年度分)について
	協議	1. 令和2年朝日町教育委員会9月定例会の日程について
令和2年 9月25日 定例会	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 令和2年度第県こども絵画展及び県総合美術展について(中止) ② 令和2年朝日町青少年健全育成町民大会の来年度への延期について
	協議	1. 令和3年度実施計画ローリング(R3~5)について 2. 令和2年朝日町教育委員会10月定例会の日程について
令和2年 9月25日 総合教育会議	協議	1. 令和3年度実施計画ローリング(R3~5)について 2. 意見交換
令和2年 10月21日	附議	議第15号 朝日町教育委員会委員の議席について
	報告	1. 教育長委任事項の報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
定例会		<ul style="list-style-type: none"> ① 令和2年度西村山中学校新人総合体育大会成績について ② 令和2年度山形県中学校新人総合体育大会（県南ブロック）成績について ③ 第56回朝日町芸術文化祭について（中止）
	協議	1. 令和2年朝日町教育委員会11月定例会の日程について
令和2年 11月25日 定例会	報告	1. 教育長委任事項の報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ① 朝日町PTA連合会からの要望書について ② 朝日町校長会からの要望書について ③ 第23回「ひめさゆり俳句大会」入選結果について ④ 令和2年度第2回学校運営協議会について ⑤ 令和2年度県新人体育大会決勝大会成績について ⑥ 第67回西村山地区駅伝競走大会の中止について ⑦ 第37回山形県女子駅伝競走大会の中止について
	附議	議題16号 町議会の議決を経るべき議案に係る町長への意見書の申出について (1) 令和2年度教育費12月補正予算について
	協議	1. 令和2年朝日町教育委員会12月定例会の日程について
令和2年 12月22日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ① 朝日町PTA連合会からの要望書への回答について ② 令和2年度朝日町小学校スキー記録会について ③ 令和3年度予算要求概要について ④ 【ホール事業】山響とみんなで創る音楽会in朝日町について ⑤ 第33回朝日町生涯学習推進大会について
	協議	1. 令和3年朝日町教育委員会1月定例会の日程について
令和3年 1月26日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ① 令和3年度朝日町中学校修学旅行の英語研修について
	附議	議第1号 令和3年度特別支援学級への就学が必要な児童生徒の決定について 議第2号 嘿焉書跡襖装（1組）の町有形文化財の指定について
	協議	1. 令和2年度 子どもの芸術文化活動に係る朝日町教育委員会表彰者の決定について 2. 令和3年朝日町教育委員会2月定例会の日程について
令和3年 2月24日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ① 令和2年度準要保護児童生徒援助費辞退届出について
	附議	議第3号 町議会の議決を経るべき議案に係る町長への意見書の申出について (1) 令和2年度教育費3月補正予算について 議第4号 町議会の議決を経るべき議案に係る町長への意見書の申出について

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
		(1) 令和3年度教育費当初予算について
	協議	1. 令和2年度子どもの芸術文化活動に係る朝日町教育委員会表彰者の追加決定について 2. 朝日町立小中学校の令和2年度卒業式及び令和3年度入学式について 3. 令和3年朝日町教育委員会3月臨時会の日程について 4. 令和3年朝日町教育委員会3月定例会の日程について
令和3年 2月24日 総合教育会議	協議	1. 令和2年度の朝日町の教育の推進について（総括） 2. これからの朝日町の教育の推進について 3. 意見交換
令和3年 3月8日 臨時会	附議	議第5号 令和3年度朝日町立小中学校教職員の人事異動内申について
令和3年 3月23日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 令和3年度朝日中学校卒業生の進路先について ② 令和3年度学級編成について ③ 令和2年度朝日町体育協会表彰受賞者について
	附議	議第6号 令和3年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について 議第7号 令和3年度朝日町立小中学校の校医等の委嘱について
	協議	1. 令和3年度朝日町学校教育・社会教育の重点について 2. 令和3年朝日町教育委員会4月定例会の日程について

3. 教育委員学校訪問

年 月 日	実 施 校	内 容
令和2年6月2日	朝日町立西五百川小学校	①学校経営概要説明、懇談 ②授業参観並びに校舎等巡回 ③教職員・教育委員紹介 ④学校経営へのアドバイス
令和2年6月11日	朝日町立朝日中学校	
令和2年6月17日	朝日町立宮宿小学校	
令和2年6月25日	朝日町立大谷小学校	

※ 上記以外に町立学校の「授業研究会（26回）」に教育委員の参加を可能とし、また教育長及び事務局職員も参加または助言者として参画した。

4. 各種会議、大会、研修会等への参加

年 月 日	会議、大会等名	場 所	出 席 者 等
令和2年4月1日	町辞令交付式	開発センター	教育長
令和2年4月1日	朝日町教職員辞令交付式	創遊館	全員
令和2年4月7日	各小中学校入学式	各小中学校	来賓要請なし
令和2年4月29日	朝日町成人式	創遊館	R3.3.20へ延期

年 月 日	会議、大会等名	場 所	出 席 者 等
令和2年5月11日	第1回学校運営協議会	創遊館	全員
令和2年5月20日	小学校陸上競技記録会 【コロナ禍のため中止】		
令和2年5月27日	第1回西村山教科書検討協議会	寒河江市	橋間委員
令和2年6月6日	西五百川小学校相撲大会	西小相撲場	R2.9.25へ延期
令和2年6月20日	保育園参観（保小中連携事業） 【コロナ禍のため中止】		
令和2年7月1日	西村山市町教育委員会連絡協議会 【コロナ禍のため中止】	朝日町	
令和2年7月8日	小学校水泳競技記録会 【コロナ禍のため中止】		
令和2年7月14日	第2回西村山教科書検討協議会	寒河江市	橋間委員
令和2年7月17日	校長・教頭合同研修会	創遊館	教育長、井上委員、 村山委員、橋間委員
令和2年8月7日	山形県市町村教育委員会大会 【コロナ禍のため中止】	南陽市	
令和2年8月29日	朝日中学校体育祭	朝日中	来賓要請なし
令和2年9月5日	西五百川小学校運動会	西小グラウンド	来賓要請なし
令和2年9月5日	大谷小学校運動会	大谷小グラウンド	来賓要請なし
令和2年9月6日	宮宿小学校運動会	宮小グラウンド	来賓要請なし
令和2年9月15日 ～16日	朝日町教育委員研修	最上方面	全員
令和2年9月25日	西五百川小学校相撲大会	西小相撲場	教育委員会9月定例会 総合教育会議のため欠席
令和2年10月11日	第37回アップル駅伝競走大会 【コロナ禍のため中止】		
令和2年11月3日	朝日町芸術文化祭 【コロナ禍のため中止】		
令和2年11月7日	あさひ国際交流推進フォーラム	創遊館	教育長、井上委員、 海野委員

年 月 日	会議、大会等名	場 所	出 席 者 等
令和2年11月28日	青少年育成町民大会 あさひ教育の日講演会 【コロナ禍のため中止】		
令和2年12月19日	朝日自然観スキー場開き	自然観スキー場	教育長
令和3年1月4日	町辞令交付式	開発センター	教育長
令和3年1月22日	町長学校訪問	朝日中、西小	教育長
令和3年1月29日	町長学校訪問	宮宿小、大谷小	教育長
令和3年2月3日	小学校スキー記録会 【コロナ禍のため中止】		
令和3年2月25日	第3回学校運営協議会	創遊館	全員
令和3年2月28日	生涯学習推進大会 【コロナ禍のため中止】		
令和3年3月16日	朝日中学校卒業式	朝日中学校	来賓要請なし
令和3年3月18日	各小学校卒業式	各小学校	来賓要請なし
令和3年3月20日	朝日町成人式	創遊館	教育長
令和3年3月31日	町退職者辞令交付式	役場庁舎	教育長

Ⅲ. 外部評価委員の意見

1. 総 括

教育委員会事務事業の点検・評価を行うに当たっては、有効性、効率性、経済性の3つの観点を根底において行うように心がけている。「有効性」とは、事業の所期の目的を達成しているか否かということである。事業に取り組んだものの「やらないよりはよかった」では、事業推進の妥当性はない。事業を実施したかどうかの可否を問うのではなく、実施した結果における成果は何なのか、それが所期の目標に照らして妥当性があるものなのかを示すことが重要なのである。「効率性」とは、定められた予算等諸条件の中で最大限の成果を上げているかということである。教育の営みは、すぐには成果が見えにくいという特徴をもつだけに、効率性を問うのは酷かもしれないが、実施可能な範囲で最大限の努力を発揮することは求められるべきものであろう。「経済性」とは、より少ない費用で無駄なく実施しているかという観点である。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴って、中止をせざるを得ない事業が多く出現した。そのため、予算額と決算額の差引額が大きくなった事業も少なくない。その点その理由を明記したことについては、高く評価したい。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って中止せざるを得ない事業が多くあったが、中止の決断に至った経緯を丁寧に記録しておくことも、今後の事業改善に向けて必要となってくるであろう。

2. 教育委員会の活動について

総合教育会議について、他市町では年間1~2回程度の開催にとどまっている状況と聞くが、本町では例年3回開催されていることは、大いに評価すべき点である。今後も、教育委員会としてのレイマンコントロール機能を働かせながら、町長部局との情報交換を密にすることによって、町の教育振興がより発展することを念願するものである。

3. 事務事業の点検・評価、今後の企画運営について

(1) 全体

- 令和2年度は、世界中を震撼させている新型コロナウイルス感染症の蔓延とその防止のため、あらゆるところに、いまだかつてない大きく様々な影響を及ぼした。とりわけ教育現場では小・中学校の長期休校を余儀なくされ、学習の遅れが懸念された。休校が解除されても、学校内外での活動がほぼ中止されるなど、これまでの学校生活が一変した1年であった。
- 見えない敵「コロナウイルス」との戦いは、町・教育委員会・学校の情報共有から始まり、一つひとつ対策を立てていったものと思う。この苦難の1年で培ったノウハウを、思いがけないことが起こった時に教訓として今後活かせる、しなやかで強い人材が育っていることを期待するものである。
- 長期休校に端を発した不登校者の増加には、家庭環境が大きくかかわっているとのことであるが、一人でも多くの児童生徒が学校に戻れるよう手を尽くしてほしい。

(2) 学校教育関係

① 教育委員会事務局費

- コミュニティ・スクール（CS）の成否を判断する要因として、教職員のCSに対する理解度の深化があげられる。例えば、地域活動推進員の活躍によって教員の負担が軽減されるなど、学校運営協議会が学校運営の応援団的役割となることが見えるようになれば、CSの設置意義がより深く理解されるようになってくる。差し当たり、転入した教職員への周知が必要である。
- 学校では、地域活動推進員の配置により、地域の人材情報や講師交渉を任せられるため、教師の負担が軽減されたと好評である。また、児童生徒にとっても、教師以外の地域の人から教えてもらうことは新鮮で楽しさが増すようだ。更には地域の人も、役に立つ喜びとやりがいになり、元気がもらえるとのことである。

② 奨学金貸与事業費

- 新規未納者が居る場合、新年度のできるだけ早い時期に連絡をとり、返還を促すよう努力してほしい。年数が経つと返さないことに慣れてしまう恐れがある。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響による所得減少など環境の変化も考えられるので、丁寧な対応が望まれる。

③ 教育研究所費

- 昨年の本評価委員会において、GIGA スクール構想に対応する ICT 教育を強力に推し進めるよう希望した。その時点での GIGA スクール構想は 5 年計画であったが、新型コロナウイルスにより、休校せざるを得ない「児童生徒の学びを止めない」ためとして、国（文部科学省）が前倒しして令和 2 年度中に実現された。「児童生徒 1 人 1 台の端末所持」は、管理についても十分な配慮が必要なことは言うまでもないが、最大限有効活用されるよう祈念する。

④ 小学校教育振興費、中学校教育振興費

- Society5.0 の時代に向けて、ICT機器の活用が学校教育に欠かせないものになっている。機器を活用するに当たって、メンテナンスや多様な活用方法の集積等に、より専門性の高い GIGA スクールサポーターや ICT 支援員等の ICT 人材の確保が求められている。教員の負担軽減にもつながることから、早期の人材確保を行うことが望まれる。

⑤ 外国語活動事業費

- 英語に親しませる手段として「英語活動CAN-DOリスト」を活用していることは、特徴的で有意義な取り組みである。児童生徒の発達段階に応じたリストにするために、定期的な見直しが求められる。その際、教師の負担増にならない範囲で実施していただきたい。
- コロナ禍にあって、その中でも行えるイベントを取り入れていくことが求められているのではないか。子どもたちにとって、異文化や英語に触れ体験することは、1 人 1 台のタブレットを持つと同じくらい普通でなおかつ重要である。異文化への理解や英語が日常になるよう、良い刺激をたくさんあげてほしい。

(3) 生涯学習関係

① 文化財保護費

- 持続可能な開発目標（SDGs）の重要性が叫ばれている昨今、「朝日町ふるさと文化財制度」は本町の SDGs に大きな関わりを持つものであり、極めて注目すべき事業である。文化財保護の中核をなす制度に位置づけるためにも、推進・発展に向けて具体的な施策の設定と独自の予算化が望まれる。
- 大沼の浮島は水源確保が長年の課題であったが、道円沢の水を引くことができれば、水量と水質の低下を改善できると思われ、神秘さの増した水環境となることが期待される。

② 中央公民館事業費、西部公民館事業費、北部公民館事業費

- 大半の事業が中止に追い込まれたことで、担当者各位の混迷の様子がうかがえる。今後、感染防止対策をとりながら可能な限り事業を実施するよう努めていくという方向性が示されているが、加えてコロナ禍においてどのように対応したのかを貴重な財産と捉え、継続、改善、廃止等、各事業の見直しを図る契機としていただきたい。
- あさひ家庭教育学級が 1 度も開催されなかったことは非常に残念である。保育参観や園児との交流がないと、出席率が極端に悪くなりがちであるので、親だけを保育園以外の場所に集めるのは大変かもしれない。そのような場合「家庭教育通信」のようなチラシ広報の発行などで、家庭教育は大事であることを、硬くなりすぎずに発信し続けていただきたい。
- 高齢者教育の高砂大学の受講生は年度当初に参加募集を行い受講者数が固定化してしまうというデメリットがある。コロナ禍により 1 年間休止した今こそ、新しいスタイルに刷新する時期ではな

いか。

③ つながり育てる人材育成事業

- 「New アクション事業」は、まちづくり推進のための自主活動を保証することであり、1 団体 40 万円という補助額には妥当性があると思われる。問題は、応募しようとする新規団体の有無であり、本事業の魅力を広くアピールすることや活動内容を町外にも紹介していくことも事業を継続させる要因となろう。実効性のある周知方法を、早期に具体化していただきたい。
- 「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」には、朝日町の明日を担う高校生を育成するという大きな目標がある。応募者がいない状況が続いているが、参加しやすい事業の発掘や、町独自の事業を企画するなどの対応が急務である。

④ 保健体育総務費

- 「ミズノ連携事業」は、町外からも注目されている事業になってきている。例えば、オンラインによるスポーツ教室を開設するような新たな事業をミズノと共同開発を行うなど、発展性のある斬新な取り組みに挑戦されることを期待する。
- 健康の維持や増進のために広くスポーツは行われるが、始めるきっかけとして総合型スポーツクラブは有効である。現在はほぼ女性対象であり、男性向けや混合教室があってもよいのではないか。

IV. 点検及び評価対象事業一覧

事務事業名	担当課・係	整理番号
教育委員会費	教育文化課学校教育係	1
教育委員会事務局総務費	教育文化課学校教育係	2
教育委員会奨学金貸与事業費	教育文化課学校教育係	3
教育研究所費	教育文化課学校教育係	4
廃校管理費	教育文化課学校教育係	5
小学校管理費	教育文化課学校教育係	6
中学校管理費	教育文化課学校教育係	7
小学校保健衛生費	教育文化課学校教育係	8
中学校保健衛生費	教育文化課学校教育係	9
小学校遠距離通学費	教育文化課学校教育係	10
中学校スクールバス運行費	教育文化課学校教育係	11
小学校整備事業費	教育文化課学校教育係	12
中学校整備事業費	教育文化課学校教育係	13
小学校教育振興費	教育文化課学校教育係	14
中学校教育振興費	教育文化課学校教育係	15
外国語活動推進事業費	教育文化課学校教育係	16
小学校給食費	教育文化課学校教育係	17
中学校給食費	教育文化課学校教育係	18
社会教育総務費	教育文化課生涯学習係	19
文化財保護費	教育文化課生涯学習係	20
町史編さん費	教育文化課生涯学習係	21
青少年健全育成推進事業費	教育文化課生涯学習係	22
自治公民館整備事業費	教育文化課生涯学習係	23
中央公民館事業費	教育文化課生涯学習係	24
西部公民館事業費	教育文化課西部公民館	25
北部公民館事業費	教育文化課北部公民館	26
創遊館管理費	教育文化課生涯学習係	27
西部公民館管理費	教育文化課西部公民館	28
北部公民館管理費	教育文化課北部公民館	29
放課後子どもプラン事業費	教育文化課生涯学習係	30
つながりで育てる人材育成事業	教育文化課生涯学習係	31
図書館費	教育文化課生涯学習係	32
文化振興費	教育文化課生涯学習係	33
保健体育総務費	教育文化課生涯学習係	34
体育施設管理費	教育文化課生涯学習係	35

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育委員会費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	01	教育委員会費

2. 事業の目的

事業の目的	教育委員会定例会を原則月1回開催し、学校教育、社会教育の課題を協議、調整、意思統一を図る。学校訪問を通して、常に教育の現場を把握し適切な指導助言を行う。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・教育長及び4人の教育委員 ・定例教育委員会12回開催、臨時会1回開催、附議事件17件 ・総合教育会議3回開催 ・西村山市町教委連絡協議会総会・研修会（朝日町）【コロナ禍のため中止】 ・山形県市町村教育委員大会【コロナ禍のため中止】 ・教育委員視察研修（最上地区）9/15～9/16 ・各校学校訪問 西小6/2、宮宿小6/17、大谷小6/25、朝日中6/11 ・各種事業への参加（教職員辞令交付式は参加、 【コロナ禍のため参加せず】入学式、小体連陸上・水泳・スキー記録会、小学校運動会、生涯学習大会、卒業式） ・【予算と決算の差引額が多い理由】 コロナ禍のため中止となった大会、研修会等があるため
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,603,000	決算額	1,098,296	差引額	504,704
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> ○先進地視察などにより、当面する様々な課題に関する情報共有と認識を新たにすることができた。また、定例会などにおいて、町の実情に即した課題を協議題として設定することにより、より充実した会議にすることができた。 ○総合教育会議を3回開催し、町長と教育委員会とが教育的課題について共通理解を図った。 ○年度の早い時期に学校を訪問し、学校の現状把握と情報共有ができた。
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員の更なる資質向上のため、定例会等を利用して町独自研修を継続して実施するとともに、今後も時宜を得たテーマを考えながら議論が深まるよう工夫していく。

事務事業点検・評価調書

2

1. 事務事業名

事務事業名	教育委員会事務局費
-------	-----------

所管課・係 教育文化課学校教育係

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

2. 事業の目的

事業の目的	適切な学校運営に必要な各種事務を行う。 第6次朝日町総合発展計画及び第2次朝日町教育振興計画に基づいた事務の執行を行う。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務事業点検・評価（外部評価委員3人） 評価委員会2回開催、9月一般公開 ・第23回小中学生ひめさゆり俳句大会（374句） ・令和3年度入学児童（37人）を対象に就学時健診（10/7）を実施 内科健診、眼科、耳鼻科、歯科、聴力、視力、知能検査 ・教育支援委員会を3回開催 ・県費教職員健康診断（全員受診） ・生活キャンペーン・・・あさひ教育の日関連事業で実施「講演会・チラシの配布」【コロナ禍のため中止】 ・スクールガードリーダー1人を配置し、パトロールを実施。（年間44日） ・臨時職員（事務補助）を1人配置 ・地域活動推進員（統括コーディネーター1名、西小1名）を配置 ・各学校をコミュニティ・スクールに指定し、学校運営協議会を3回開催。（5/11, 9・10月中, 2/25） ・コミュニティ・スクール先進校視察。【コロナ禍のため中止】 ・学校運営協議会委員を対象に年1回研修会を開催。【オンライン開催】 2/25 演題「コミュニティ・スクールの可能性」 講師 特定非営利活動法人まちと学校のみらい代表理事 文部科学省CSマイスター 竹原 和泉 氏 ・【予算と決算の差引額が多い理由】 コロナ禍のため中止した事業があるため
--

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	8,464,000	決算額	7,322,266	差引額	1,365,734
-----	-----------	-----	-----------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> ○第2次朝日町教育振興計画に基づく実施計画の作成と目標値の管理を行っている。目標値に対して達成率の低い項目についてその要因を協議し、具体的な施策につなげることができた。 ○地域活動推進員を配置し、学校と地域が連携できるよう調整を行い、地域学習をスムーズに行うことができた。 ○学校運営協議会では毎回熟議を行い、学校の今の課題や育てたい児童生徒像などの情報共有を行っている。また、その内容をコミュニティ・スクール通信を発行し町民へ広く周知することにより、地域と学校の連携・協働の意識の高揚に徐々に繋がっている。 ○大谷小学校に地域学校協働本部「大谷っ子サポーターズクラブ」を立ち上げ、学校と地域が連携・協働した教育活動をさらに推進することができた。 ○「いじめ防止基本方針」に基づき、「いじめ問題対策連絡協議会」において、いじめの実態を共有し、学校と関係機関が連携していじめ防止に当たった。また、学校においては、日常的な児童生徒の細やかな観察や定期的なアンケート調査により早期発見・迅速対応を行うことにより、県の解消率と比較していじめ解消率の高さにつながった。

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・第2次朝日町教育振興計画に基づいた目標値のこれまでの達成率や事務事業点検・評価に基づき、第2次朝日町教育振興計画の中間見直しを行う。 ・就学時健診日程は1日とし、学校医の検診時間や児童の移動の時間を考慮した体制づくりを行う。 ・教職員の「働き方改革」を推進するために、校務支援ソフト等の導入を検討し、事務的な業務の軽減につなげる。 ・地域学校協働本部の設置、地域活動推進員の増員により地域と学校の連携・協働を強化し、コミュニティ・スクールの推進していく。 ・大谷小学校をモデルに地域学校協働本部を全ての学校に立ち上げ、学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進を図っていく。 ・いじめ防止等のために、学校と関係機関との連携、日常的な児童生徒の観察と定期的なアンケート調査、学習生活指導員等の適切な配置を継続していく。

事務事業点検・評価調書

3

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	奨学金貸与事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

2. 事業の目的

事業の目的	高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、専修学校に修学する者のうち学費の支弁が困難と認められる者を支援するため、その修学に必要な資金を貸与する。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・お知らせ板による周知 (2月) ・奨学金貸与申請者の審査会 6/12 (新規貸与者3人) ・貸与件数 11件 R2 貸与額 5,040,000円 ・返還件数 55件 R2 定時返還請求金額 9,437,600円 ・滞納件数 13件 3,175,750円 <ul style="list-style-type: none"> 内訳 現年度未納額 608,000円 滞納繰越額 2,567,750円 ・年度末基金残高 101,434,738円 <ul style="list-style-type: none"> うち 現金 37,430,588円 貸付金 64,004,150円
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	20,000	決算額	8,417	差引額	12,583
-----	--------	-----	-------	-----	--------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○貸与、返還業務については、ほぼ計画どおり処理できている。</p> <p>○奨学金システムを活用することで効率的な管理ができている。</p> <p>△滞納については新規の滞納者をださないように、さらなる滞納対策が必要となっている。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・返還方法については、引き続き返還計画を提出してもらい無理のない返還となるよう努めていく。(月賦払い、半年賦払い、年賦払い) ・滞納者には、督促通知及び電話、自宅への訪問等を実施し返還請求を行う。それでも滞納が続く場合には、連帯保証人との話し合いの機会をつくることを検討していく。 ・町の奨学金利用者は減少傾向にあるが、その一因として日本学生支援機構奨学金の制度拡充や教育ローンの低金利などによるものと思われる。町の奨学金の役割や今後のあり方を検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育研究所費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	03	教育研究所費

2. 事業の目的

事業の目的	教職員の資質向上を図る。
-------	--------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の各部会における研修、研究、全体研修 課題研究部会（地域連携推進 19 人、外国語教育 18 人、ICT 教育 18 人）を 2 回開催【コロナ禍のため中止】 校務研究部会（養護教諭部会 5 人 3 回開催、事務職員部会 5 人 4 回開催） 学力向上委員会 6 人 2 回開催 子育て生徒指導部会 21 人 2 回開催【1 回目はコロナ禍のため中止】 読書活動推進委員会 13 人 1 回開催 保小中連携推進部会 15 人 2 回開催【コロナ禍のため中止】 教育講演会 町めぐり 赴任 1・2 年目の教職員 7/31【コロナ禍のため中止】 ・朝日町教育委員会指定研究校 大谷小学校 1 年次 授業研究負担金（助成）100,000 円 ・NRT 検査、知能検査（5 月）、CRT 検査（12 月～1 月）、Q-U アンケートを公費負担で実施。 ・教育研究所所報（第 23 号）を発行（事業の経過を掲載） ・【予算と決算の差引額が多い理由】 コロナ禍のため中止した事業があるため
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,314,000	決算額	1,167,970	差引額	146,030
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○教職員の資質向上に資するための研究機関としての意義は大きいものがある。学力向上に関して、学力検査（NRT）や全国学力・学習状況調査の課題共有と今後の取組など、具体的な数値をもとにしながら指導改善に取り組むことができた。また、学社連携やいじめ防止対策を担う「子育て生徒指導部会」は、今後も継続していくことが重要である。</p> <p>○学力向上委員会の機能を町教務主任会に置いた。授業改善や指導力向上について毎回話題にし、年 2 回は時間をかけて協議した。各校の取り組みを情報交換・共有し、小中連携を意識して今後も継続していくことが大事である。</p> <p>○「子育て生徒指導部会」では、「『育てよう生きる力』～地域とのかかわりを広げよう～」の推進をテーマに、学校・PTA・保育園・公民館等での活動などを情報交換することができた。「あさひ教育の日」の連携事業として生活キャンペーンの講演会を予定していたがコロナ禍のため中止した。</p> <p>○地域連携推進部会で、保小中連携一貫教育の視点から、12 年間を見通した「郷土学習カリキュラム」を作成した。学校と地域の連携・協働による生活科・総合的な学習の時間の充実を図りたい。</p> <p>○GIGA スクール構想による ICT 教育の推進のために、令和 3 年度に導入する学習支援ソフト「ミライシード」の操作方法について、全職員を対象に研修会を実施した。新年度からのスムーズな運用に備えることができた。</p> <p>○教員の働き方改革の視点から会議の日数を減らした。</p> <p>△保小中連携一貫教育の視点から、保育士と教員の合同研修会を年 1 回開催している。特に保育士の研修機会を増やすために、小・中学校の授業研究会なども参観できる体制を整え、積極的な参加を促していく。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上委員会で各校の学校研究や授業改善等、学力向上対策についての研修・情報交換を行い、指導力向上に向けて今後も取り組んでいく。令和 3 年度は新学習指導要領に基づく評価の在り方について重点的に研究する。 ・社会に開かれた教育課程のため、生活科、総合的な学習を中心においたカリキュラムマネジメントの研修を充実させる。また、生活科や総合的な学習等の授業研究会の案内を、あさひ保育園にも送付する。 ・GIGA スクール構想による一人一台端末の時代に対応するため ICT 教育に関わる研修を充実させる。ICT 支援員の配置に向け、どのような支援をどれくらいの時間必要なのか等の研究を行う。 ・学社連携を担う「子育て生徒指導部会」や保小中連携一貫教育を担う「保小中連携推進部会」は今後も継続していく。また、「あさひ教育の日」の活動と連動させるため、テーマの見直しを検討していく。 ・教職員の負担が増えないように教育研究所の組織や研修内容等を見直し、教職員の「働き方改革」をさらに推進する。 ・小学校社会科副読本のデジタル化に向け、令和 2 年度に行った研究を基に、令和 3 年度にデジタルブックを作成する。 ・夏季研修会の講演会ではコミュニティー・スクールをテーマとし、教職員が当事者意識を持てるように努める。
--

事務事業点検・評価調書

5

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	廃校管理費
-------	-------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	旧小学校施設を利用する町民の利便性確保のため、日常の維持管理を行う。
-------	------------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・廃校（旧立木小、旧大沼分校）の管理 維持費として、電気料 903,745 円、水道料 26,535 円 【現在の使用状況】 旧立木小：立木研修センターとして青少年活動やスポーツ少年団等の町民や各種団体が利用 年間を通して、4人の芸術家がアトリエとして、制作活動のため使用 旧大沼分校：校舎の一部（主に1階）を、大沼区が大沼公民館として利用 民具の收藏場所として2階の部屋を使用（民具の管理は生涯学習係） ・【予算と決算の差引額が多い理由】 電気料、水道料が想定より下回ったため
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,257,000	決算額	1,122,980	差引額	134,020
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

○地域住民や町内の各種団体等が利用する際の安心と安全に配慮して、施設設備の保守点検等を実施した。結果、利用に支障が生じていない。
--

6. 事業の方向性

・使用に支障がないよう適切な維持管理を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	児童の安全確保と適切な学校運営のため適切な維持管理を行う。
-------	-------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築後の経過年数により老朽化が進んでいる施設があるものの、法令等に基づく各種保守点検や日常点検を実施 ・ 光熱水費、通信運搬費について月別状況を各校に通知し、節電、節水等を指導 ・ リフト点検、ボイラー点検、プール保守点検実施 ・ 【予算と決算の差引額が多い理由】 令和3年度への繰越事業（感染症対策等の学校教育活動継続支援事業費 2,403,000 円）があるため 電気料、水道料が想定より下回ったため

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	18,550,000	決算額	12,832,370	差引額	5,717,630
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> ○各種点検を実施し、適正な管理ができた。 ○光熱水費は、各学校に対して定期的に利用状況を通知し、節電、節水等を呼びかけた結果、前向きな取り組みにより経費削減に効果が出ている。
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう管理を行う。 ・節電、節水等の呼び掛け及び設置したエアコン使用については省電力化も含めて今後も継続して実施する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	生徒の安全確保と適切な学校運営のため適切な維持管理を行う。
-------	-------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築後の経過年数により老朽化が進んでいるものの法令等に基づく各種保守点検や日常点検を実施 ・ 光熱水費、通信運搬費について月別状況を通知し、節電・節水を指導 ・ 臨時職員（事務補助）を継続して1人配置 ・ 【予算と決算の差引額が多い理由】 令和3年度への繰越事業（感染症対策等の学校教育活動継続支援事業費 801,000 円）があるため 電気料、水道料が想定より下回ったため
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	10,835,000	決算額	6,392,186	差引額	4,442,814
-----	------------	-----	-----------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> ○各種点検を実施し、適正な管理ができた。 ○光熱水費は、中学校に対して定期的に利用状況を通知し、節電、節水等呼びかけた結果、前向きな取り組みにより経費削減に効果が出ている。

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう管理を行う。 ・ 節電、節水等の呼び掛け及び設置したエアコン使用については省電力化も含めて今後も継続して実施する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校保健衛生費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	病疾患の早期発見や児童自身の健康維持に対する意識を高めることにより、児童が元気に学校生活を送れるようにする。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・学校医5人、薬剤師2人を委嘱し、各種健診(内科、歯科、耳鼻科、眼科)を実施 ・山形県成人病検査センターへ各種検査(ぎょう虫、尿、貧血、心電図)を委託 ・学校での集団健診を実施 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとり、例年と健診時期をずらすなど万全を期して実施 欠席者に対しては町内の学校医は個別健診、寒河江市の学校医は教育委員会で引率し実施 ・児童の日常における健康管理や安全については、校医の指導の下、養護教諭及び各学校保健委員会を中心に啓発指導を実施 ・学校保健委員会の開催 【コロナ禍のため中止】 ・【予算と決算の差引額が多い理由】 学校医の出勤日の減による
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,351,000	決算額	2,003,569	差引額	347,431
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価(成果と課題)

○集団健診未受診者に対して、教育委員会で引率したことにより早期に全員の健診が終了できた。
--

6. 事業の方向性

・未受診者については、早期に健診できるよう継続して対応を行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校保健衛生費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	病疾患の早期発見や生徒自身の健康維持に対する意識を高めることにより、生徒が元気に学校生活を送れるようにする。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・学校医4人、薬剤師1人を委嘱し、各種健診(内科、歯科、耳鼻科、眼科)を実施 ・山形県成人病検査センターへ各種検査(尿、貧血、心電図)を委託 ・学校での集団健診を実施 欠席者に対しては町内の学校医は個別健診、寒河江市の学校医は教育委員会で引率し実施 ・生徒の日常における健康管理や安全については、校医の指導の下、養護教諭及び学校保健委員会を中心に啓発指導を実施 ・学校保健委員会の開催 【コロナ禍のため中止】 ・【予算と決算の差引額が多い理由】 学校医の出勤日の減による
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,354,000	決算額	1,160,190	差引額	193,810
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価(成果と課題)

○集団健診未受診者に対して、教育委員会で引率したことにより早期に全員の健診が終了できた。
--

6. 事業の方向性

・未受診者については、早期に健診できるよう継続して対応を行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校遠距離通学費
-------	-----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	遠距離通学児童に年間を通した安全な通学を確保する。
-------	---------------------------

3. 事業の実施状況

<p>遠距離から通学している児童数 58人 (24%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス運行による通学 (三中線：臨時職員 和合線・上郷線：業者委託) 太郎地区3人、三中地区6人(下校4人)、上郷地区13人、和合地区17人、沢内地区4人、大沼・大暮山4人(立木、上郷、和合、大暮山の登校は中学校スクールバスを利用) 夏休み短縮による暑い中での下校の際にスクールバスを運行した ・タクシー運行による通学 (業者委託) 太郎方面(下校)、沢内方面(下校)、大暮山方面(下校)、雪谷(登下校)2人 沼ノ平(登下校)3人、中沢(下校)2人 ・運行については、運転手と打合せや講習会を行い安全運行に努めている。 ・車両の老朽化に伴い安全運行維持の面から部品交換など修繕には万全を期している。 ・【予算と決算の差引額が多い理由】新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のための小学校の臨時休業に伴いスクールバス及びタクシー運行の減少により予算額減額をしたが、想定より経費が少なかったため
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	8,220,000	決算額	6,708,944	差引額	1,511,056
-----	-----------	-----	-----------	-----	-----------

5. 事業の評価(成果と課題)

<p>○家庭、学校、教育委員会の連携のもと5月からは計画どおりの運行ができた。</p> <p>○スクールバスの定期点検を適切に行い安全な運行ができた。</p> <p>○遠距離通学の対象児童が毎年変化しているため、運行体制の編成が複雑になっているが、状況を勘案した編成を行いスムーズな運行ができた。</p> <p>△近年の児童生徒数の減少に伴い、通学の防犯上の安全面への配慮等も踏まえ安全策を随時見直す必要がある。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・安全運行のため、スクールバスの定期点検や更新を適切に行う。 ・臨時職員の運転手に対して、県等が主催する研修への参加や、警察等による安全教育を行う。 ・災害発生時等において関係機関と情報を共有し、通行可能な路線の確認を行うとともに、学校・保護者・スクールバス運転手と連絡を密にして安全な通学を確保することを基本として実施していく。 ・地区別の児童生徒数や通学体制などを総合的に判断し、効率的な運行計画を立てる。 ・少子化・防犯上の問題など子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、スクールバスの利用対象地区の拡大もやむを得ない状況となっているが、体力面や拡大に伴う地区間の不公平感も考慮し、運行方針及び利用基準を検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校スクールバス運行費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	遠距離通学生徒に年間を通した安全な通学を確保する。
-------	---------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・遠距離から通学している生徒 79人 (55%) ・スクールバス3台運行 松程線 臨時職員 (11人、冬期は能中・川通3人) 大沼線 臨時職員 (0人、(送橋方面下校のみ、和合地区冬期下校のみ、登校時は小学生のみ乗車)) 立木線 臨時職員 (10人、冬期のみ2人) 上郷線 業者委託 (6人) (小学生と同乗) 和合線 (5人、(水本・送橋方面)) 業者委託 (小学生と同乗/下校は大沼線とスクールタクシー) ・スクールタクシー 和合平線 (1人、下校は大沼線)、水本方面 (下校のみ) ・山交バス (北部地区34人、冬期間登下校大隅1人、冬期間登校和合地区6人/下校は大沼線) ・運行については、運転手と打合せや講習会を行い安全運行に努めている。 ・車両の老朽化に伴い安全運行維持の面から部品交換など修繕には万全を期している。 ・【予算と決算の差引額が多い理由】新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、中学校の臨時休業に伴いスクールバス及びタクシー運行の減少により予算減額をしたが、想定より経費が少なかったため
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	20,207,000	決算額	17,192,497	差引額	3,014,521
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○家庭、学校、教育委員会の連携のもと5月からは計画どおりの運行ができた。</p> <p>○スクールバスの定期点検を適切に行い安全な運行ができた。</p> <p>○遠距離通学の対象生徒が毎年変化しているため、運行体制の編成が複雑になっているが、状況を勘案した編成を行いスムーズな運行ができた。</p> <p>○部活動での大会や練習試合等でもスクールバスを利用しており、送迎に係る保護者の負担軽減ができた。</p> <p>△近年の児童生徒数の減少に伴い、通学の防犯上の安全面への配慮等も踏まえ安全策を随時見直す必要がある。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・安全運行のため、スクールバスの定期点検や更新を適切に行う。 ・臨時職員の運転手に対して、県等が主催する研修への参加や、警察等による安全教育を行う。 ・災害発生時等において関係機関と情報を共有し、通行可能な路線の確認を行うとともに、学校・保護者・スクールバス運転手と連絡を密にして安全な通学を確保することを基本として実施していく。 ・地区別の児童生徒数や通学体制などを総合的に判断し、効率的な運行計画を立てる。 ・少子化、車社会、防犯上など子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、スクールバスの利用対象地区の拡大もやむを得ない状況となっているが、体面や拡大に伴う地区間の不公平感も考慮し、運行方針及び利用基準を検討していく。

事務事業点検・評価調書

12

1. 事務事業名

事務事業名	小学校整備事業費
-------	----------

所管課・係 教育文化課学校教育係

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	安全で安心して授業が受けられる施設の整備を行う。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・委託関係 <ul style="list-style-type: none"> 校内ネットワーク整備事業委託(小学校分) 18,360,980円 GIGAスクール端末本体以外設定費等(小学校分) 3,371,569円 ネットワーク強靱化整備業務委託(小学校分) 1,153,350円 宮宿小学校屋内運動場吊り天井改修工事実施設計・監理業務 (設計) 2,618,000円、(監理) 1,903,000円 大谷小学校受水槽更新工事实施設計業務 495,000円 施設劣化診断調査 (宮宿小学校) 4,510,000円、(大谷小学校) 4,730,000円 ・工事関係 <ul style="list-style-type: none"> 宮宿小学校屋内運動場吊り天井改修工事 38,830,000円 大谷小学校受水槽更新工事 9,240,000円 大谷小学校受水槽ポンプ改修工事 2,381,500円 避難所トイレ機能強化改修工事 2,649,139円 校舎内トイレ洋式化(各校1基ずつ) ・備品購入 <ul style="list-style-type: none"> GIGAスクール端末 11,496,672円(端末台数 285台) 食器洗浄機(宮宿小)3,938,000円、消毒保管機(宮宿小)924,000円 プールマット、プリンター、職員用イスなど ・使用料 ミライシード1年ライセンス(小学校分)617,815円(ライセンス数 239台) <p>他、各小学校へ小規模修繕の予算配当</p>

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	114,373,000	決算額	112,203,281	差引額	2,169,719
-----	-------------	-----	-------------	-----	-----------

5. 事業の評価(成果と課題)

<p>○学校と連携しながら不良箇所の修繕を行い、適切な施設管理ができた。</p> <p>△西五百川小学校校舎(S54)、宮宿小学校校舎(S55)は建築年が古く、老朽化が進み改修が必要であり、長寿命化改修には多額の経費が見込まれる。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き安全・安心で快適な施設となるよう整備を行っていく。 ・西五百川小学校校舎、宮宿小学校校舎の改修については、緊急性の高いものから町の実施計画(3年間)に計上し、関係部局との連携を図りながら確実に実施できるよう取り組んでいく。 ・施設の劣化調査の結果では、長寿命化改修に多額の経費が見込まれるので、より適切な施設整備策がないのか検討する。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校整備事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	安全で安心して授業が受けられる施設の整備を行う。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・委託関係 <ul style="list-style-type: none"> グラウンド簡易トイレ維持管理 154,440 円 校内ネットワーク整備事業委託(中学校分) 8,730,920 円 GIGA スクール端末本体以外設定費等(中学校分) 2,051,061 円 ネットワーク強靱化整備業務委託(中学校分) 384,450 円 ・工事関係 <ul style="list-style-type: none"> 体育館スロープ設置工事 964,810 円 避難所トイレ機能強化改修工事 2,630,861 円 校舎内トイレ洋式化(1基) ・備品購入 <ul style="list-style-type: none"> GIGA スクール端末 6,978,682 円(端末台数 173 台) 職員用イスなど ・使用料 ミライシード1年ライセンス(中学校分) 387,750 円(ライセンス数 150 台) <p>他、中学校へ小規模修繕の予算配当</p>

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	25,204,000	決算額	24,090,912	差引額	1,113,088
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価(成果と課題)

<p>○学校と連携しながら不良箇所の修繕を行い、適切な施設管理ができた。</p> <p>△校舎、体育館は平成22年度に耐震工事が終了し、併せて内壁、外壁等主要な部分も大規模改修を行ったが、建築年が昭和51年と古く設備面を中心に老朽化が進み改修が必要であり、長寿命化改修には多額の経費が見込まれる。</p> <p>△屋外部活の部室が目の届かないところにあり、老朽化もしていることから改築する必要がある。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう整備を行っていく。 ・平成29年に実施した劣化調査を基に老朽化している施設・設備を緊急性の高いものから計画的に整備していく。 ・社会開放用のトイレ設置と、屋外部室の改築については町の実施計画(3年間)に計上し整備を検討していく。 <p>なお、屋外部室の管理については、改築されるまでの間、教職員による定期的な見回り等を実施し安全を確保する。</p>
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

事務事業名	小学校教育振興費
-------	----------

所管課・係 教育文化課学校教育係

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	02	教育振興費

2. 事業の目的

事業の目的	教材の活用により分かりやすい授業が行われ、児童の学習意欲向上を図る。 情緒障がいや知的障がい等により、支援を要する児童に、きめ細かな学習支援を行う。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・小学校3、児童数239人【20クラス（内特別支援5クラス）】 ・学力向上・特色ある学校づくり事業を各校の生徒に身につけたい力を事業内容とした実施に対し、各校 280,000円を上限に補助 （西小265,000円、宮小279,818円、大谷小260,000円） ・小体連陸上【コロナ禍のため中止】、水泳記録会【コロナ禍のため中止】 ・海の子山の子交流事業【コロナ禍のため中止】 ・各校の教材備品、一般備品の購入1,114,300円 ・芸術鑑賞事業補助330,000円 ・準要保護対象者13人、特別支援教育就学奨励該当者7人 ・学習生活指導員（西小2人・宮小3人・大谷小3人）、読書活動推進員（1人） ・宗生文庫基金による図書購入506,858円、年度末基金残高14,117,180円 <p>【予算と決算の差引額が多い理由】 会計年度任用職員の経費が想定より少なかったため</p>

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	26,529,000	決算額	22,962,090	差引額	3,566,910
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○各校とも学力向上・特色ある学校づくり事業において工夫して実践を行った。特に総合的な学習において、地域の「ひと・もの・こと」等、身近な素材を活用して学習し、朝日町のよさを発信するなどの表現力が高まっている。</p> <p>○学習生活指導員の配置により、複式学級・特別支援学級も含め、きめ細かな学習指導を行うことができた。</p> <p>○読書活動の推進を図るため、全小学校で図書のデータ管理を行っており、朝日町子ども読書活動推進計画に沿った各種施策を着実に実施できた。</p> <p>○読書活動推進員は各小学校を巡回しながら、図書室の環境整備や図書の紹介、図書を活用した授業への支援を行った。その結果、図書室の利用及び図書の貸し出しが増えるなど読書の推進が図られた。</p> <p>○電子黒板や大型モニターテレビ等の活用により、画像や動画等を提示しながらわかりやすい授業が行われている。</p> <p>△特別な支援が必要な子どもへの対応を行う際には、保護者の理解や協力を得ていく必要がある。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・今後も学力向上と地域の方々との関わりを通して特色ある学校づくり事業を継続していく。 ・少子化による複式学級の設置状況を踏まえ、引き続き学習生活指導員を配置し、きめ細かな学習指導を進めていく。 ・一人ひとりの実態に応じたきめ細かな学習指導を進めるため、特に低学年への対応を重視していく。 ・障がいを持つ特別な支援が必要な児童の保護者に対し、子どもの将来を見据えた指導等の必要性について、理解を得るために努力していく。さらには保護者、学校、行政が情報を共有し、協力を得られるべく努力していく。 ・ICT支援員等を配置し、端末の有効活用及び教員の負担軽減を図る。 ・不登校の児童の学びの保障のために、居場所づくり及び教育相談員等の配置について検討し、家庭と学校をつないでいく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

事務事業名	中学校教育振興費
-------	----------

所管課・係 教育文化課学校教育係

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	02	教育振興費

2. 事業の目的

事業の目的	教材の活用により分かりやすい授業が行われ、生徒の学習意欲向上を図る。 情緒障がいや知的障がい等により、支援を要する生徒に、きめ細かな学習支援を行う。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・朝日中学校 生徒数 150 人【8 クラス(内特別支援 2 クラス)】 ・学力向上・特色ある学校づくり事業を生徒に身につけたい力を事業内容とした実施に対し、上限額の 660,000 円を補助 ・教材備品及び一般備品の購入 125,235 円 ・県大会、東北大会、全国大会派遣【コロナ禍のため中止】 ・部活動補助 390,000 円 ・準要保護対象者 14 人 ・特別支援学級奨励対象者 6 人 ・学習生活指導員 2 人、読書活動推進員 1 人を配置 ・スクールカウンセラー 2 人配置 <p>【予算と決算の差引額が多い理由】 会計年度任用職員の経費が想定より少なかったため</p>

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	10,065,000	決算額	8,731,235	差引額	1,333,765
-----	------------	-----	-----------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○学力向上・特色ある学校づくり事業において工夫して実践を行った。特に総合的な学習において、地域の「ひと・もの・こと」等、身近な素材を活用して学習し、朝日町のよさを発信するなどの表現力が高まっている。また、地域の産業や伝統文化を学ぶことにより、これからの自分の生き方を考えるキャリア教育の推進にもつながっている。県教委主催の探究コンテストにもチャレンジし、優秀な成績を収めている。</p> <p>○学校から要望のあった各種備品等を年度当初に購入したことから、授業での活用が図られ、生徒の学習意欲が向上した。</p> <p>○学習生活指導員の配置により、きめ細かな学習指導を行うことができた。</p> <p>○読書活動推進員は、図書室の環境整備や図書の紹介、図書を活用した授業への支援を行った。その結果、図書室の利用及び図書の貸し出しが増えるなど読書の推進が図られた。</p> <p>○電子黒板や大型モニターテレビ等の活用により、画像や動画等を提示しながらわかりやすい授業が行われている。</p> <p>△不登校の生徒や保健室登校・別室登校の生徒が学級に戻れるように支援していく。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・今後も学力向上と地域の方々との関わりを通して特色ある学校づくり事業を継続していく。 ・引き続き学習生活指導員を配置していく。 ・一人ひとりの状況に応じた学習指導が求められており、保護者の理解と協力を得ながら対応していく。 ・不登校の児童生徒に対して県のスクールカウンセラー事業を活用して支援し、一刻も早い学校生活への復帰を促していく。 ・ICT 支援員等を配置し、端末の有効活用及び教員の負担軽減を図る。 ・不登校の生徒の学びの保障のために、居場所づくり及び教育相談員等の配置について検討し、家庭と学校をつなげていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	外国語活動推進事業費
-------	------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	02	教育振興費

2. 事業の目的

事業の目的	小学校における国際理解と英語力の向上を図る。 中学校における英語教育（コミュニケーション能力）を充実する。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度から小学校学習指導要領の改訂により、小学校3・4年生で外国語活動、5・6年で外国語が必修となった。令和元年度から、町単独のALTにJET事業のALTを加え2人体制にした。 現ALTはアメリカの異文化体験活動を企画実施し、国際交流の進展にも寄与している。平成28年度から実施している中学生の海外派遣事業についても中心となって事業を行っている。 <p>【実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際交流イベント 7/4 (小学生18人参加) ハロウィン 【コロナ禍のため中止】 中学生海外派遣事業 7/31～8/3 朝日中3年生8人 代替 福島県ブリティッシュヒルズ 【コロナ禍のため米国への海外派遣は中止】 アイジー基金を活用した事業 事業費1,246,816円 あさひ国際交流推進フォーラム 11/7 海外派遣事業の報告 意見交流「朝日町ならではの外国人への“おもてなし”について」
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	12,352,000	決算額	11,395,441	差引額	956,559
-----	------------	-----	------------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○従前からのALTは来日以来17年間の実績を活用し、学校と連携しながら適切な指導ができています。JET派遣のALTと2人体制を取ることにより、学校での滞在時間が長く、英語を聞いたり話したりすることが日常化している。</p> <p>○ハロウィンは子どもたちに人気があり日本の風土にもなじんでいる。令和2年度はコロナ禍のため中止としたが、今後も継続していきたい。</p> <p>○国際交流イベントでは新しい生活様式に基づき、ゲームや食事のスタイルを工夫することができた。派遣生が中心となって計画・運営をすることにより、企画・調整力やコミュニケーション力等の育成も図ることができた。</p> <p>○中学生海外派遣事業が5回目となり、報告会としてあさひ国際交流推進フォーラムを開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をし規模を縮小して開催したが好評であった。</p> <p>○保小中連携一貫教育の推進として、令和元年度に作成した保小中12年間を見通した「英語活動CAN-DOリスト」を活用して英語教育の充実を図っている。あさひ保育園や小学校低学年での英語あそびにより、英語への抵抗感を緩和している。</p> <p>○中学生海外派遣事業は福島県ブリティッシュヒルズでの研修になったが、異文化理解と英語によるコミュニケーション能力の育成という目的を達成することができた。</p> <p>△中学生の海外派遣事業の報告をより多くの方から聞いていただけるように発信の仕方を検討する。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> CAN-DOリストに基づき、英語育成を図る。保育園や小学校低学年から英語に慣れ親しみ、抵抗感なく外国語活動へつながるようにする。 国際交流事業を通して、小・中学生が外国への関心を高めており、今後とも国際交流事業を継続していく。 ALT2人体制を継続し、外国語活動や外国語授業の質を向上させていく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校給食費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	03	学校給食費

2. 事業の目的

事業の目的	バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供し、健やかな子どもを育てる。
-------	-------------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・経費は、光熱水費、調理師代行、検査委託費等 ・自校炊飯を全校で実施 年間 180 日～190 日 ・給食の食材は保護者負担 1 食 280 円 ・週 4 回米飯、1 回パンまたは麺類 ・献立作成会議を年 10 回開催 ・町独自の調理師資質向上研修会 2 回開催(調理師全員参加) ・地産地消を目指し毎月 19 日をふるさと給食の日と定め地元の野菜や果物、農産加工品を提供 ・食物アレルギー対策として、個別に自校給食により対応した給食を提供 (除去・代替えによる対応)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	12, 198, 000	決算額	11, 506, 884	差引額	691, 116
-----	--------------	-----	--------------	-----	----------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○1 件の事故もなく、バランスのとれた給食を提供することができた。</p> <p>△集中改革プラン (H17～21) で、給食の民間委託の検討を行うことが示されたが、その後の行革実現プランには「給食民間委託」は明文化なし。ただし、町全体として「民間委託の推進」は掲げているので、十分な協議が必要である。</p> <p>△食物アレルギー対策を現在も実施しているが、アレルギーの多様化や人数の増加により、個別での対応が複雑化している。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託の導入についても検討するが、当面は直営での給食を行っていく。 ・食物アレルギー対策として、これまでの就学時健診時におけるアンケート調査に加え、年度末に保護者からの申告による食物アレルギー調査を行い、その結果を共通認識を持ち安全に提供するため給食に反映させる。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校給食費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	03	学校給食費

2. 事業の目的

事業の目的	バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供し、健やかな子どもを育てる。
-------	-------------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・副食給食を委託 12,100,000 円（複数年契約） ・給食の食材は保護者負担 食材 1 食 210 円 ・食物アレルギー対策としては、除去による個別に対応した給食を提供

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	15,831,000	決算額	15,738,588	差引額	92,412
-----	------------	-----	------------	-----	--------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○バランスのとれた副食給食を提供することができた。</p> <p>△異物混入が1件あったが、中学校で迅速な生徒への対応や保護者への説明を行い生徒の健康被害及び保護者からの苦情はなかった。併せて委託業者に再発防止、業務改善の指導をした。</p> <p>△食物アレルギー対策を現在も実施しているが、アレルギーの多様化や人数の増加により、対応が複雑化している。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の提供にあたり、給食センター方式や自校給食又は業務委託があるが、当面は業務委託による副食給食方式を継続し、委託先の状況に応じて他の方式にも切り替えられるよう今後を見据えて対応していく。 ・食物アレルギー対策として、事前に小学校からのデータを引き継ぐことを基本とし、年度末に保護者からの申告による食物アレルギー調査を行い、その結果を共通認識を持ち安全に提供するための給食に反映させる。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	社会教育総務費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	生涯学習の振興を図る。
-------	-------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員 7人 (男6人、女1人) ・社会教育委員会の開催 (6/23、3/18) ・社会教育委員会で協議した内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 朝日町社会教育の課題 <ul style="list-style-type: none"> ① 女性の社会参画の在り方 ② 子ども・若者の地域活動参画の在り方 ③ 社会教育関係団体の高齢化、担い手の偏り ④ 文化財の保護と活用 ⑤ 社会教育、社会体育施設の老朽化 (2) 課題に対応するための重点取り組み <ul style="list-style-type: none"> ① 人材育成事業の推進 ② 地域社会による子育て、社会教育の推進 ③ 読書・芸術文化活動の推進 ④ 文化財保護・保存と活用 ⑤ スポーツを通じた地域づくり・健康づくり ・山形県社会教育研究大会 10/16 5人参加 (山形市) ※運営スタッフ2人 ・社会教育機関負担金 (県社教連、県社教大会、山響) ・社会教育団体活動補助金(子ども会育成連絡協議会 199,000円) ・臨時職員賃金、共済費 (創遊館業務員)
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	3,209,000	決算額	2,999,620	差引額	209,380
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<ul style="list-style-type: none"> ○社会教育委員会は計画に沿って開催することができた。 ○社会教育委員会は、事業計画及び実施状況について、適正に助言している。時代の変化に合わせて社会教育の課題が変化してきており、対応が難しくなっている中、人口減少の中での社会教育の役割や目的などテーマを決めて意見交換を行うことができた。
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員は、教育委員会に対する助言、意見を述べるなどの職務のために、先進的、優良事例の調査研究等を行い、社会教育委員会の活動の活発化を促し、当町社会教育に反映させる。 ・社会教育委員会の中で、テーマを決めた意見交換を行い、社会教育委員としての資質の向上に努める。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	文化財保護費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	町の文化財を掘り起こし、地域の宝として、守り伝える態勢を整え活用を図る。
-------	--------------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護委員 5人(5人以内) ・文化財保護委員会 (7/1、11/10) ・文化財保護委員視察研修 (9/30～10/1) 長井市：旧長井小学校第一校舎、小桜館 新潟県村上市：おしゃぎり会館 鶴岡市：致道博物館、たにしの学校 ・指定文化財保護事業費補助金 <ul style="list-style-type: none"> 佐竹家住宅管理費補助 100,000円 (差し茅) 水口十一面観音堂管理費補助 894,000円 (緊急差し茅修繕14千円、差し茅825千円、雪下ろし55千円) 大沼の浮島整備補助【国庫補助】 2,040,000円 (護岸周辺散策路整備等) 大沼の浮島整備補助【町単独補助】 434,720円 (指定地内刈払、船外機購入等) 角田流獅子踊 (大谷・八ツ沼) 伝承補助 100,000円 木造薬師如来立像防火・防犯設備整備補助 55,000円 ・旧三中分校施設管理委託 (八ツ沼区) 203,000円 (草刈・雪下ろし等) ・文化財等保護調査 (ハッチョウトンボ)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	4,290,000	決算額	4,036,902	差引額	253,098
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○町指定文化財については、所有者等と協議しながら保存整備を行うことができた。</p> <p>○大沼の浮島整備については、平成30年度に策定した今後10年間の整備の指標となる保存整備計画に基づいて計画的に整備を行うことができた。</p> <p>○大沼の浮島については、水源確保、水量・水質低下への対策が必要であるが、水源流入調査の結果、道円沢の沢水を流入しても問題がないことが分かり、令和3年度から測量等に着手できる準備が整った。</p> <p>△文化財マップの活用や準文化財を登録する「朝日町ふるさと文化財制度」を推進し、地域の宝を守り伝えていく心を醸成していく必要がある。</p> <p>△区や個人で所有している文化財（特に建造物、個人所有）については、経済的にも高齢化による体力的にも大きな負担となってきており、将来的に維持・保存が難しくなることも想定される。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・大沼浮島保存整備委員会において、計画実施の経過観察及び評価を行い、適宜見直ししながら保存・活用整備を適切に進めていく。 ・地域の宝を守り伝えていく心を醸成していくために、マップの活用や準文化財を登録する「朝日町ふるさと文化財制度」を今後も推進し、公民館連絡協議会や区長会等において、周知を図る。 ・文化財が将来的にも良好な状態で引き継がれていくために、今後も所有者との維持管理に関する話し合いを重ねていく。更に、町の支援の拡充を検討するとともに、国、県に対して引き続き支援の拡充を求めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	町史編さん費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	町の歴史を正しく理解し、後世に伝える。
-------	---------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・町史編さん専門員2人を配置 ・町史及び町史資料頒布 ・文化財保護、民具の利活用等 倉遊館ギャラリーにて実施 ①「田畑で使用した民具」6/17～7/6 ②「冬季に使用した民具と土器石器展示」2/19～3/1 ・朝日町郷土史研究会 ・ふるさと歴史教室「古文書講座」～古文書から見る暮らし～ 10/7～11/11 計6回 (受講者8人/延べ40人)
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,631,000	決算額	2,590,020	差引額	40,980
-----	-----------	-----	-----------	-----	--------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○町史関係資料を収集・解読し、朝日町史編集資料第35号を発行できた。</p> <p>○古文書、歴史資料をまとめた町史や町史編集資料の頒布や古文書講座の開催は、広く町民に伝えることにつながっている。</p> <p>△町内の民俗文化財に対する調査が遅れており、伝承できる人や貴重な資料が減少する前に調査する必要がある。</p> <p>△町史編さん専門員は、深い専門性と幅広い知識により町史編さん事業を担っているが、今後も継続的に調査・研究を行うために、後進の育成や引継ぎ等を視野に入れた新たな人材の発掘・雇用を検討する必要がある。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・継続して、古文書、歴史資料をまとめ町史編集資料の作成業務を行う。 ・古文書講座は、様々な対象者を想定し開催時期や時間など工夫しながら実施していく。 ・エコミュージアム協会と連携し、民俗文化財の調査体制を整備する。 ・朝日郷土史研究会等と連携しながら、町史編さん専門員の後継者となる人材の発掘や育成に努めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名 青少年健全育成推進事業費

2. 事業の目的

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

事業の目的 家庭、学校、地域が一体となった町全体の共通目標を掲げ、町民全体による子育てを推進する。

3. 事業の実施状況

- ・青少年育成町民会議（委員 22 人）
総会（書面協議）9/4、3/23
青少年育成町民大会（あさひ教育の日との連携事業）【コロナ禍のため中止】
※理事会(8/27)において、令和2年度に計画している講師・内容で次年度へ延期する案とし、9/4の総会（書面決議）に諮り令和2年度の中止決定→中止の周知なし
山形県青少年健全育成県民大会 10/25 2名参加
村山地区青少年育成連絡協議会推進部会研修会 9/27 1名参加
- ・青少年指導センター（委員 17 人）
書面会議（5/18）、街頭指導（8/31、3月上旬【コロナ禍のため中止】）
※8/31は風神祭の中止に伴い中止、3月は役員及び学校と県内のコロナ感染者の状況を踏まえて検討し、指導委員長が中止決定→委員へはその都度（6/15・3/8）、通知により周知
- ・青少年育成推進員活動（委員 7 人）
会議（9/9）、青少年事業への活動補助
「わくわく体験事業」【コロナ禍のため中止】
※会議（9/9）において協議し、中止決定→中止の周知なし
- ・あさひ教育の日推進委員会（委員 5 人）
会議（7/29、2/25）
啓発活動（チラシ全戸配布、ポスター掲示、立て看板設置）

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	399,000	決算額	305,145	差引額	93,855
-----	---------	-----	---------	-----	--------

5. 事業の評価（成果と課題）

- 時代の変化により非行の減少や問題・課題内容の変化を受け、関連団体における活動内容の整理、統合や連携強化を図るため、「青少年指導センター」「青少年育成推進員会」「青少年育成町民会議」を統合し、効率的かつ連携した活動が行える体制を検討できた。
- ・コロナ禍のため各種事業が中止・延期となったが、コロナ禍のなかでも開催できる方法を模索し、途切れることなく青少年健全育成事業を行っていく必要がある。

6. 事業の方向性

- ・青少年の健全育成を推進する機関が見守っていることの啓発活動として、登下校時の学校訪問等による街頭指導を継続して行っていくとともに、あさひ教育の日推進事業など学社連携により、町民一人ひとりが教育に対する関心と理解を深め、地域全体で子どもたちを育てていく機運を高めていく。
- ・青少年健全育成活動とあさひ教育の日の啓発活動をより一体的に推進するため、「あさひ教育の日推進委員会」の在り方について見直しを図っていく。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をとりながら、可能な限り事業を実施できるよう努めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	自治公民館整備事業費
-------	------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	生涯学習の振興を図る拠点施設である自治公民館の整備に助成する。
-------	---------------------------------

3. 事業の実施状況

・自治公民館整備事業費補助金	
① 平公民館（屋根改修・塗装）	317,000 円（補助率 50%）
② 助ノ巻公民館（冷暖房設備整備）	440,000 円（補助率 40%）
③ ハッ沼公民館（トイレ改修）	523,000 円（補助率 40%）
④ 大谷第4公民館（冷暖房設備改修）	157,000 円（補助率 50%）
⑤ 夏草公民館（消防設備整備）	62,000 円（補助率 40%）
⑥ 西原公民館（床改修）	83,000 円（補助率 40%）
⑦ 新宿公民館（トイレ塗装）	60,000 円（補助率 30%）
⑧ 栗木沢公民館（床改修）	114,000 円（補助率 30%）
⑨ 宮宿公民館（冷暖房設備改修）	118,000 円（補助率 30%）
⑩ 大暮山公民館（外側木部塗装）	88,000 円（補助率 40%）

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,962,000	決算額	1,962,000	差引額	0
-----	-----------	-----	-----------	-----	---

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○自治公民館整備事業補助金交付規程の見直しを行い（平成 29 年 4 月 1 日改正）、各公民館の整備に関する相談に応じて支援することができた。</p> <p>△事業規模（交付対象金額）により事前協議の期限と補助率を区分しているが、少ない構成戸数では補助率は手厚くなる一方、着手まで時間がかかるなどの制度の不具合もある。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・各地区からの要望をできるだけ早い段階で把握し、支援漏れのないよう制度の周知徹底を図っていく。 ・自治公民館建築事業補助金交付規程に基づき計画的な支援を行うため、より活用しやすく、地域の問題や課題を把握し、実情に合わせた運用ができるよう随時制度の見直しを検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名 中央公民館事業費

2. 事業の目的

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

事業の目的 町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。

3. 事業の実施状況

- ・中央兼中部公民館運営審議会 (6/25、3/19)
 - ・家庭教育
 - 中央公民館事業…やまがた子育て講座 (10/9 西小 70 人、11/6 朝日中 25 人、12/5 宮小 120 人、大谷小【コロナ禍のため中止】)
 - あさひ家庭教育学級 (あさひ保育園 0 回 【コロナ禍のため中止】)
 - ・青少年教育
 - 中央公民館事業…成人式 : 3/20 参加者 31 人 (対象 57 人)
 - ボランティア育成 (中学生…きらり 13 人、高校生…JOKER 4 人 : 創遊館装飾等)
 - 中部公民館事業…子ども会育成事業 (第 28 回綱引き大会 3/20 【コロナ禍のため中止】)
 - ※町の対策方針 (町有施設利用に係る留意事項・会食等の指針等) を踏まえ、中止の事務局案を
書面協議 (1/28) に諮り中止決定→2/16 通知により周知
 - 中部キッズクラブ (12/19 スノードーム作り 参加者 16 人)
 - ・女性教育
 - 中央公民館事業…女性文化教室 11 教室 (実申込者数 114 人、延べ申込者数 139 人) 【コロナ禍のため中止】
 - 代表者会 3 回 (4/14、6/2、2/19)
 - ※代表者会議において協議し、自粛決定 (結果的に年間を通して中止)
 - その都度、代表者を通じて各会員に周知
 - 女性まつり (第 41 回) 2/28 【コロナ禍のため中止】
 - ・成人教育
 - 中央公民館事業…ふるさと歴史教室「古文書講座」【再掲】10/7～11/11 計 6 回 (受講者 8 人/延べ 40 人)
 - 第 33 回生涯学習推進大会 2/28 【コロナ禍のため展示のみ (2/19～3/1)】
 - ・自治公民館
 - 中央公民館事業…町自治公民館長・主事研修 【コロナ禍のため中止】
 - ※評議会 (7/2) において協議し、中止決定→8/19 通知により周知
 - 公民館報発行奨励金交付事業 16 館、自治公民館研修会等共催支援事業 1 館
 - 中部公民館事業…自治公民館長・主事研修 【コロナ禍のため中止】
 - ※町の対策方針 (町有施設利用に係る留意事項・会食等の指針等) を踏まえ、中部地区自治
公民館連絡協議会長と事務局で協議し中止決定→8/19 通知により周知
 - ※各公民館事業の実施や中止に関する相談については、国・県・町の方針や基準、対策等について情報提供を行った
 - ・高齢者教育
 - 中央公民館事業…高齢者大学代表者会議 【コロナ禍のため中止】
 - 中部公民館事業…寿大学 【コロナ禍のため中止】
 - ※三役会において協議し、コロナ禍が終息まで自粛決定 (結果的に年間を通して中止)
 - 4/30 各運営委員に対して通知し、運営委員より各会員に周知
- 【予算と決算の差引額が多い理由】生涯学習推進大会を展示のみとし女性文化教室を再開できなかったことによるため

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	619,000	決算額	323,026	差引額	295,974
-----	---------	-----	---------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

○新型コロナウイルス感染症への対処方法が明確になるにつれ、やり方を工夫しながら対策を講じられる事業は実施できた。

△固定された参加者が多くなり、新たな参加者を増やしていく必要がある。

△効果的な企画・運営を行うためには、随時、町民のニーズを把握する必要がある。

6. 事業の方向性

- ・生涯学習の充実を図るため、幼少期から高齢期まで幅広く町民の学ぶ機会を提供するとともに、町民の声やニーズを生かした企画と事業への見直しを図っていく。
- ・子育てに忙しい年代や、成人男性のニーズに応える学ぶ機会をつくる。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をとりながら、可能な限り事業を実施できるよう努めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課西部公民館

事務事業名	西部公民館事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	03	西部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・公民館運営審議会及び健康増進センター管理運営審議会 (7/15 会議、3/16 付書面開催) ・青少年教育…いもがわ少年教室 1回 10人 <ul style="list-style-type: none"> …子ども会交流事業 0回 0人【コロナ禍のため中止】(4/14 開催の役員会で実施判断を会長及び事務局一任と決定、夏季大会は6/2 中止を決定、6/9 郵送で地区代表育成委員に周知、冬季大会は1/26 中止を決定、2/3 郵送で地区代表育成委員に周知) …青年教室 0回【コロナ禍のため中止】 ・女性教育…楽笑楽生こうざ 2回 22人 ・成人教育…陶芸教室 1回 19人 <ul style="list-style-type: none"> …筆ペン講座 1回 3人 …そば打ち教室 0回 0人【コロナ禍のため中止】 …チャリティーグラウンドゴルフ大会 10/17 参加者 57人 …自治公民館長主事研修会 6/14 0人 <ul style="list-style-type: none"> 【コロナ禍のため中止】(4/16 開催の館長会で中止を決定、5/1 発行の西部公民館だよりで関係者に周知) …第27回西部地区スポーツフェスティバル 8/20 0人 <ul style="list-style-type: none"> 【コロナ禍のため中止】(4/16 開催の館長会で中止を決定、5/1 発行の西部公民館だよりで西部地区民に周知(ソフトボール、グラウンドゴルフ、インディアカ、ビーチバレーボール、輪投げ)) ・高齢者教育…高齢者教室(高砂大学) 0回 0人 延べ0人 <ul style="list-style-type: none"> 【コロナ禍のため中止】(6/15 運営委員長と協議し、コロナ禍が終息まで自粛決定(結果的に年間を通して中止)、6/19 郵送で受講者に周知) ・第56回朝日町芸術文化祭展示発表会 11月【コロナ禍のため中止】 ・「西部公民館だより」発行 3回(5/1、9/16、1/1) ・西部区長会や子ども会育成協議会など7団体の事務局担当

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	145,000	決算額	121,979	差引額	23,021
-----	---------	-----	---------	-----	--------

5. 事業の評価(成果と課題)

<p>○女性対象の楽笑楽生こうざは、長年継続している事業であり、参加者から好評を得ている。令和2年度はコロナ禍のため味噌づくり講座のみを計画し、町内で感染者が発生したので一度延期としたが、無事に開催できた。</p> <p>△コロナ禍のため上半期の事業はほぼ中止せざるをえなかった。下半期の事業についても、中止や延期など開催に支障があった。</p> <p>△西部地区スポーツフェスティバルは、西部地区自治公民館連絡協議会が主催し、各地区から大勢が参加する事業であり、西部地区の住民がスポーツとレクリエーションをとおして、地域の活性化と相互の親睦を深める機会となっているが、コロナ禍のため中止となった。</p> <p>△高齢者教室(高砂大学)は参加者から好評を得ているが、コロナ禍のため中止となった。</p> <p>△町民ニーズに応える事業を実施しようとするが、町民の関心が多岐にわたり、応えることが難しい。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の周知方法・回数等を見直し、新規参加者を増やす。 ・町民ニーズの把握に努め、事業内容や開催方法の見直しを行う。 ・地区最大のイベント、スポーツフェスティバルは、各自治公民館と他の地区との交流を促進する機会となっており、継続開催していく。 ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をとりながら、可能な限り事業を実施できるよう努めていく。

事務事業点検・評価調書

26

1. 事務事業名

事務事業名	北部公民館事業費
-------	----------

所管課・係		教育文化課北部公民館	
予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	04	北部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

- ・公民館運営審議会 (7/21 会議、3/12 付書面開催)
- ・青少年教育…ドキドキ探検隊 隊員9人 達人倶楽部20人 延べ隊員41人、延べ達人倶楽部50人参加
(流しそうめん、ハイキング、中華めん打ち、夏キャンプ等7回) 【2月の冬キャンプはコロナ禍のため中止】
…子ども会育成協議会事業 「交通安全教室」、「第2回事業」【コロナ禍のため中止】(5/15開催の総会(書面開催)で実施判断を会長及び事務局一任と決定、交通安全教室は6/29中止を決定、7/3郵送で地区代表育成委員に周知、第2回事業は1/19に中止を決定、1/25郵送で地区代表育成委員に周知)
- ・高齢者教育…睦大学【コロナ禍のため中止】(9/17開催の役員会で中止を決定、9/23郵送で運営委員に周知)
- ・成人教育…自治公民館連絡協議会 館長主事等研修会【コロナ禍のため中止】(5/14開催の役員会で中止を決定、5/21郵送で関係者に周知)
…第16回北部地区レクリエーション大会【コロナ禍のため中止】(5/23開催の総会(書面開催)で中止を決定、6/16発行の北部公民館だよりで北部地区民に周知)
…そば打ち教室【コロナ禍のため中止】
…肩こり・腰痛改善体操 2回 10人 延べ14人【コロナ禍のため1回中止】
…毛糸玉で可愛いクリスマスリースをつくってみよう 1回 8人
- ・女性教室…蜜ろうでハンドクリームをつくってみよう 1回 10人
- ・第56回朝日町芸術文化祭 秋葉山交遊館展示発表【コロナ禍のため中止】
- ・秋葉山交遊館ロビー開放(冬季)…1/12(火)～3/18(木)の火曜日と木曜日 計14日間 4人
(※常にロビーは開放しているが、この期間は暖房をつけて開放)【1/27～2/10はコロナ禍のため休止】
- ・その他、共催事業等…ひまわりサロン(高齢者等の交流居場所づくり)活動支援【コロナ禍のため中止】
…交遊たのしい子ども教室(生け花体験等)共催
…秋葉山さくら回廊等整備作業(6/14、7/5)、秋葉山整備活用計画の意見交換(10月北部地区区長会にて実施)
(農林振興課にて、秋葉山の倒木処理、下刈りを実施)
- ・「北部公民館だより」発行 4回(4/16、6/16、10/30、12/28)
- ・北部地区区長会や子ども会育成協議会など5団体の関係団体事務局担当

4. 予算額・決算額

(単位:円)

予算額	154,000	決算額	109,329	差引額	44,671
-----	---------	-----	---------	-----	--------

5. 事業の評価(成果と課題)

- 青少年事業の「ドキドキ探検隊」は、野外活動を多く取り入れ、日頃できない体験が出来て参加者や保護者、大谷小学校より好評を得ている。また、地域の大人達が組織する「ドキドキ探検隊達人倶楽部」が企画、運営を担っており、世代間交流や地域の子どもの地域で育てる取組となっている。コロナ禍のため、やむを得ず中止となった活動もあったが、感染防止対策をとりながら実施した。
- △高齢者の事業として「睦大学」を行っているが、コロナ禍のため中止となった。
- △北部地区レクリエーション大会は北部地区自治公民館連絡協議会が主催し、北部地区民が一堂に集い、レクリエーションを通じて健康な身体の維持促進を図り、笑顔が絶えない活力ある地域づくりを目指す機会となっているが、コロナ禍のため中止となった。
- △成人教育として性別を問わず幅広い年代から参加者が集まる事業の検討が課題である。

6. 事業の方向性

- ・事業の内容を見直ししながら、さらに青年層及び世代間交流の事業を充実し、参加者数の増加と、各年代の学びの機会提供、地域の活性化につなげていく。
- ・北部地区レクリエーション大会は、各自治公民館と他の地区との交流の場となっており、継続していく。
- ・成年層の事業を各種行いながら、60代の学びと社会参加の場の確保にもつなげていく。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をとりながら、可能な限り事業を実施できるよう努めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	創遊館管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	07	創遊館費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・朝日町エコミュージアムコアセンター創遊館（平成12年5月完成） ・管理、各種設備、機器等の委託 夜間休日管理、清掃業務、エレベーター点検、空調設備、ピアノ保守管理、ホール管理、自動ドア、警備保障、舞台装置、特殊建築物定期報告、環境衛生・貯水槽清掃 ・修繕、工事 経常的な施設・設備・機械器具等の軽微な修繕 952,347円 電気設備改修工事 58,150千円（受変電設備、照明器具、非常用発電機、監視カメラ等更新） 電気設備改修工事監理業務 2,706千円 機械設備改修工事 9,240千円（中央監視装置、通信モジュール、自動制御機器等更新） トイレ洋式化改修工事 4,895千円 ・芝生広場の芝刈りや除草等維持管理（随時） ・創遊館の貸出 R2年度 利用件数1,051件 利用人数9,594人（町民1人当たりの利用回数1.48回）（6,476人） R1年度 利用件数1,309件 利用人数20,421人（町民1人当たりの利用回数3.06回）（6,662人） ※町民1人当たりの利用回数＝利用人数／年度末日現在の人口（他も同様）

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	97,838,000	決算額	95,600,290	差引額	2,237,710
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○経年劣化により創遊館施設の各所に故障や傷みが出てきているため、特に著しい劣化が見られるものや緊急性の高いものから改修している。</p> <p>○中長期修繕計画に基づき、空調設備に続き電気設備を改修することができた。今後予定の建築改修工事を行えば、大きな部分は一通り改修される。</p> <p>△電子機器の経年劣化による不具合の発生や、年数の経過による供給を受けられない部品や機械が出始めているため、中長期修繕計画に基づき修繕を進める必要がある。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に劣化診断結果をもとに策定した中長期修繕計画に沿って、今後も計画的な施設修繕を行っていく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課西部公民館

事務事業名	西部公民館管理費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	03	西部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> 西部公民館（平成4年2月完成）、健康増進センター（昭和60年8月完成）、西部地区総合運動場（グラウンド：昭和62年3月完成）、熊ノ山農村公園（見晴らしの丘：平成15年3月完成）の4施設の管理 屋内施設：随時の清掃、維持 屋外施設：芝刈りや除草等維持管理。雪囲いや芝刈り、草刈りなどを、シルバー人材センターに委託している。熊ノ山農村公園の芝生は、グラウンドゴルフを楽しむ地元愛好会の皆さんから草取り作業など奉仕活動いただいている。また、コースの設定管理についても協力して頂いている。 年間利用者：R2年度 西部公民館 424人、健康増進センター 2,016人、西部地区総合運動場 815人、熊ノ山農村公園 3,963人、計 7,218人（町民1人当たりの利用回数1.1回）（6,476人） （R1年度 西部公民館 1,709人、健康増進センター 3,982人、西部地区総合運動場 924人、熊ノ山農村公園 5,371人、計 11,986人（町民1人当たりの利用回数1.80回）（6,662人） 西部公民館屋根塗装工事 2,255,800円 健康増進センター業務用ストーブ等購入事業 1,056,000円 西部公民館2階トイレ洋式化改修工事 1,980,000円 西部公民館1階ホール冷暖房エアコン更新工事 4,510,000円 西部公民館2階研修室エアコン設置工事 495,000円
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	13,610,000	決算額	13,090,345	差引額	519,655
-----	------------	-----	------------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

○地区民や関係団体の自発的な奉仕活動による維持管理の協力を頂きながら、適切な管理業務を行った。
△施設の老朽化とともに、不具合が生じている。また、予定外の修繕も発生するため、対応に苦慮している。

6. 事業の方向性

・施設の老朽化に伴い、緊急性のあるものから計画的に修繕を行い、施設の長寿命化を図る。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課北部公民館

事務事業名	北部公民館管理費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	04	北部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・秋葉山交遊館、芝生広場（平成7年7月完成）、北部体育館（昭和54年3月完成）、大谷地区運動広場（昭和62年完成） ・屋内施設：随時の清掃、維持、夜間警備委託（188,760円） ・屋外施設：芝刈りや除草、樹木剪定、枝打等維持管理 一部、シルバー人材センター等に委託（328,005円）。 ・年間利用者：R2年度 秋葉山交遊館 1,375人、ときめき体験館 55人、多目的広場 566人、北部体育館 1,163人、秋葉山グラウンド 599人、計 3,758人 （町民1人当たりの利用回数0.58回）（6,476人） R1年度 秋葉山交遊館 6,066人、ときめき体験館 88人、多目的広場 3,534人、北部体育館 1,902人、秋葉山グラウンド 1,360人、計 12,950人 （町民1人当たりの利用回数1.94回）（6,662人） ・秋葉山交遊館 多目的交流ホールエアコン更新工事設計業務 363,000円 ・秋葉山交遊館 多目的交流ホールエアコン更新工事 5,390,000円 ・【予算と決算の差引額が多い理由】 電気料金の契約変更により料金が引下げになったことと、コロナ禍のため施設利用者が減少したことにより施設管理費が減となったため。
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	10,257,000	決算額	8,734,017	差引額	1,522,983
-----	------------	-----	-----------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> ○施設の維持管理の協力として、地区民から自発的に奉仕作業をいただいている。 ○木製遊具やテニスコート、屋外バスケットコートなど、幼児、子ども達が利用している。 ○多目的広場では、地区民のグラウンドゴルフ利用が多く、各区大会や日常の練習等で利用されている。 △秋葉山交遊館は施設完成から26年が過ぎ、老朽化が進んでおり、修繕の必要な箇所が増えてきている。

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・随時、施設点検を行うとともに、施設の老朽化や修繕必要箇所について、緊急性の高いものから計画的に修繕して、安全で安心して利用しやすい施設を維持していく。
--

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	放課後子どもプラン事業費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	放課後の子ども達の安心安全な居場所づくりを行う。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

- ・放課後子ども教室推進事業の実施
コーディネーター2人配置

	サポーター数	開設数		延べ利用者数
		平日	土日	
きらきらスクール（宮小）	19人	21日	1日	28人
のびのびスクール（西小）	16人	134日	1日	5,060人
どきどきスクール（大谷小）	20人	135日	7日	870人

- ・きらきらスクール（宮小）
※コロナ対策及び体育館改修工事により10月まで未実施（全児童が速やかに下校するよう指導）
- ・のびのびスクール（西小）
※少子化・防犯上の観点から、一斉下校を実施しており、原則的に全児童が利用
- ・どきどきスクール（大谷小）
※少子化・防犯上の観点から、徒歩通学距離が長く、少人数地区の低学年は、高学年とともに下校するため、高学年を待つ必要がある児童は原則的に利用

【予算と決算の差引額が多い理由】
3学期における開催日数も減少したため

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	1,099,000	決算額	872,169	差引額	226,831
-----	-----------	-----	---------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

○町内の3つの小学校で年間を通して開設。学校との連絡調整を密にした運営体制が構築されており、サポーターによる放課後の安全な居場所が確保された。
△サポーター数が減少している中、放課後子ども教室の需要（開設回数）が増えている小学校では、一人当たりの負担が増えている。

6. 事業の方向性

- ・サポーターの確保とサポーター同士のつながりを強化していく。
- ・各校へのコーディネーターの配置とサポーターの増員により、負担感が少ない運営体制を目指していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	つながりで育てる人材育成事業
-------	----------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	自主的に活動する人材・団体を育成し、行政とともに地域づくり、まちづくりを推進し町民生活に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

<p>「New アクション事業」の実施 応募団体3団体</p> <p>【チャレンジ創造資金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・末吉良ボーイズ 代表 齋藤 隆 (4人) 初年度 補助金 400,000 円 子どもの遊び場作りを通じて、若者たちの交流の場を創出する (遊び場作り及び貸出、木工ワークショップ) ・木工復興プロジェクト 代表 鬼武 昌 (5人) 初年度 補助金 400,000 円 果樹などの伐採木を再利用し、魅力ある木工製品を開発する (農園で使える簡易トイレの開発) <p>【アクション継続資金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・星の会 代表 成原千枝氏 (12人) チャレンジ3年後の3年目 (最終年度) 補助金 400,000 円 古民家で民話による地域おこしを行ない、交流人口の拡大につなげる R2年度: 2事業、来場者数約600人 (3月実施予定の1事業はコロナ禍のため中止) R1年度: 8事業、来場者数317人 (3月実施予定の2事業はコロナ禍のため中止) ※事業の実施や中止に関する相談については、国・県・町の方針や基準、対策等について情報提供を行った <p>「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」への募集 参加者なし (問合せ1件: 高校1年生) ※オンライン講義と短縮した宿泊学習でのカリキュラムに変更</p>

4. 予算額・決算額

(単位: 円)

予算額	1,200,000	決算額	1,200,000	差引額	0
-----	-----------	-----	-----------	-----	---

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○町や地域の活性化や課題を考え、様々な視点からの活動を行い、町づくりに寄与する事業となった。</p> <p>○本事業は、3年まで継続事業についての支援としており、3年間支援を受けたグループが自立した活動へつながるような支援を検討し、条件を付加しさらなる継続を可能とした。今後も支援団体の状況を見ながら、人材育成という本来の目的を重視するとともに、一歩踏み出すきっかけづくりとなる事業として実施していく必要がある。</p> <p>○新規2件の相談をうけ、団体の設立 (立上げ) や実際の取組みにつなげることができた。また、活動内容を紹介する動画を作成、提供してもらうことができた。</p> <p>△「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」は、周知したが参加希望者なし。毎年の参加希望は難しい状況であり、改善していく必要がある。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・新たな取り組みにチャレンジしようとする町民が、実際の活動につなげられるよう New アクション事業を通して支援していく。 ・事業の周知を図るため周知方法を工夫し、呼びかけや効果的なPRを行う。 ・支援団体の協力を得ながら活動内容を映像化し、今後の事業の周知に活用していく。 ・今後も若い世代の人材育成を図るため、「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」だけでなく、高校生を対象とした事業に派遣するとともに、結果を広く中学生や高校生に伝えられる場づくりを検討する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	図書館費
-------	------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	05	図書館費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が学習や生活に役立つ情報や知識を得ることができ、楽しい生活の場とするため図書館運営を行なう。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・町立図書館管理運営 臨時職員 4 人配置 ・利用登録者 4,480 人、うち町外 579 人 (R1 登録者 4,403 人 うち町外 564 人) ・1 日平均貸出 約 44 冊 (R1 49 冊)、1 日平均利用者数 約 11 人 (R1 17 人) ・図書資料収集・蔵書数 43,913 冊/R2 末 (43,018 冊/R1 末) ・蔵書点検 11/17~22 ・移動図書事業 5 月~3 月 (8 月は除く) 大谷小 19 回 (月 2 回/3 月のみ 1 回) ・団体貸出 2 団体 りんごっこクラブ (年 10 回・451 冊)、あさひ保育園 (年 10 回・121 冊) ・ブックスタート事業 (年 6 回) 絵本のプレゼント、絵本の読み聞かせ ・おはなし会事業 5 月~3 月 (毎月第 2 土曜、12 月・1 月除く) 1 回【8 回はコロナ禍のため中止】 ※おはなし会「ぶなの実」と共催 ・12/6 (日) クリスマス子どものつどい【コロナ禍のため中止】 ・12/6 (日) 古本プレゼント【コロナ禍のため中止】 ・12/5 (土) 夜の図書館【コロナ禍のため中止】 ・ブックテーマコーナー開設 (毎月) 月毎にテーマを設定し本の紹介 延長 ・子育て支援コーナー設置 (図書冊数 180 冊、貸出冊数 240 冊) ・貸出袋製作 (20 周年記念事業として 200 袋 (大 100・小 100) を製作し利用者へ貸出)
--

4. 予算額・決算額

(単位:円)

予算額	7,138,000	決算額	6,834,718	差引額	303,282
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○図書館の利用者数を増やしていくため、毎月ブックテーマの設定等を実施することができたが、おはなし会は、コロナ禍のため実施することができなかった。</p> <p>○幼児期から本に親んでもらうため、ブックスタートでの絵本贈呈等の活動を実施することができた。</p> <p>○移動図書事業については、低学年と高学年に分けて実施したことで、より子どもたちの図書に親しむ機会の充実に寄与することができた。</p> <p>△図書館利用の促進については、選本等の吟味・工夫が必要である。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館等との連携強化や各種研修会への参加による職員の資質向上を図り、多様な町民ニーズへ対応していく。 ・学校の図書室や読書活動推進員との情報交換によるニーズ把握等により、選本の吟味と工夫を凝らした図書館利用につなげていく。 ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をとりながら、可能な限り事業を実施できるよう努めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	文化振興費
-------	-------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	06	文化振興費

2. 事業の目的

事業の目的	地域を活かした朝日町らしい芸術文化活動を高める。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化祭 町芸術文化協議会支援 (30 団体、2 個人) 11/2～3 第 56 回芸術文化祭【コロナ禍のため中止】 ※常任理事会(8/3)において、展示も含めて中止する案とし、第 2 回理事会(書面決議)の協議を経て中止決定 →9/2 各理事に対して通知し、理事より各会員に周知 →9/23 各小中学校に対して通知、10/1 発行お知らせ板で町民に対して周知 ・「美の探訪」【コロナ禍のため中止】 ※常任理事会(8/3)において、中止する案とし、第 2 回理事会(書面決議)に諮り中止決定 →9/2 各理事に対して通知し、理事より各会員に周知 ・創遊館展示(ギャラリー・フォーラム) ①最上三十三観音スケッチ展【R3 へ延期】、②教科書展示(6/1～12)、③田畑で使用した民具展示(6/17～7/6) ④芸文祭 11/2～17【コロナ禍のため中止】、⑤県立楯岡特別支援学校作品展(10/15～30) ⑥生涯学習推進大会展示(2/19～3/1)、⑦冬の民具展示<土器・石器も併せて>(2/19～3/1) ・ホール事業 「山響とみんなで創る音楽会 in 朝日町」(1/31) 定員 160 人【コロナ禍のため中止】 ※町内の感染状況から、町の基本方針により、1/28 から 2/10 まで町有施設の休館(休業)、イベントの中止 →1/28 チケット購入者及び関係機関に電話により周知、後日、チケット料金払い戻し等の通知を送付し、払い戻しを実施 ・中央公民館 「文化講座」 7 講座 参加者 67 人(7/11、7/18、7/25、8/1、12/5、12/11、1/15) 「親子講座」 1 講座 参加親子 6 組 15 人(12/18)
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	287,000	決算額	202,094	差引額	84,906
-----	---------	-----	---------	-----	--------

5. 事業の評価(成果と課題)

<p>○新型コロナウイルス感染症対策が比較的取りやすい文化講座は、前年度参加者の意見を参考とした講座の開催や講座数を増やしたことにより、コロナ禍においても申込者数の増(64人→82人)につながった。</p> <p>△町芸術文化協議会加盟団体を構成している会員の減少や高齢化が進んでいる。</p> <p>△切れ目ないギャラリーの活用は出来ていないが、少しずつ展示(相談)回数は増えてきている。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・くらしに彩りを添えられる「文化講座」となるよう、今後もニーズに沿った講座を企画していく。 ・芸術文化協議会をはじめ関係者との検討を深め、新たな体制や運営を考える。 ・ギャラリーの活用については、常時展示会等を開催できるよう情報収集を強化していく。 ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をとりながら、可能な限り事業を実施できるよう努めていく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	保健体育総務費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	保健体育費
	目	01	保健体育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が生涯スポーツ活動に取り組める。
-------	--------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員の設置（委員8人） ・町体育協会主催の各種大会への支援（R2実施競技：剣道、柔道、野球、グラウンドゴルフ） （体育協会加盟団体14団体、会員数528人） ・第37回アップル町民駅伝競走大会【コロナ禍のため中止】 ※検討会（8/7）において、各チーム代表者の総意で中止の案とし、実行委員会（8/20）の協議を経て中止決定 →9/1発行お知らせ板及びホームページで、町民等に対して周知 ・県縦断駅伝、蔵王坊平Jr駅伝競走大会・クロスカントリー大会、西村山地区駅伝競走大会【コロナ禍のため中止】 ※各主催団体において中止の判断 ・ミズノ連携事業 Jr.マラソニッククラブ及び町スポ少合同コンディショニング教室（1/16）【2回開催予定→1回実施】 小学校走り方教室、泳ぎ方教室、中学校コンディショニング教室【コロナ禍のため中止】 ・全国大会に出場する競技成績優秀者への激励金の交付（個人2件、団体0件）30,000円 ・町体育協会への各種スポーツ大会の運営支援 補助金405,000円 ・総合型地域スポーツクラブ運営支援（5教室（7コース）58人、Jr.マラソニッククラブ18人） 補助金1,660,000円 ・スポーツ少年団の育成支援（9団体 団員数101人） 補助金264,000円 ・小学校スキー記録会（2/3）【コロナ禍のため中止】 ※大会役員・競技役員による打合せ会（12/1）において、中止の判断基準を協議し、基準日における感染状況から判断基準に基づき大会会長（教育長）が中止決定→1/20関係各所に対して、通知により周知 【予算と決算の差引額が多い理由】 スキー記録会の中止、全国大会激励金の減少、体育協会及びスポーツ少年団補助金の減額のため

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	4,297,000	決算額	3,341,916	差引額	955,084
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○体協主催の各種大会、スポ少活動、総合型地域スポーツクラブなどの運営支援を行い、コロナ禍の中でも可能な範囲でスポーツに取り組める機会を提供することができた。</p> <p>○各種スポーツ団体や大会の運営、全国大会出場者に対する支援を行い、町民のスポーツ振興に努めることができた。</p> <p>△町民の多様なニーズに対応したスポーツに触れられる機会や施設等の環境が整わない。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をとりながら、可能な限り事業を実施できるよう努めていく。 ・各種スポーツ団体への支援と各種大会運営に対する支援、全国大会に出場する競技成績優秀者への激励金等を継続していく。 ・「ミズノとの連携事業」は町全体で推進しており、各部署で連携内容を検討し様々な事業を展開している。教育委員会においても、小中学校での運動教室の開催や総合型スポーツクラブのJr.マラソニッククラブへの講師派遣を行っており、今後も多様な事業を展開できるよう連携を強化し検討していく。 ・スポーツ振興基金は、取り崩しせずに利子を積み立てていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	体育施設管理費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	05	保健体育費
	目	02	体育施設費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が利用しやすい施設運営をする。
-------	-------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・町民体育館の管理委託 1,810,314 円、清掃業務 46,980 円 一般利用人数：R2 4,834 人（町民 1 人当たりの利用回数 0.75 回）中体連等の強化練習での使用なし R1 8,459 人（町民 1 人当たりの利用回数 1.27 回）他中体連、新人戦強化練習にて使用 ・緑が丘公園町民プール【コロナ禍のため中止】清掃業務委託 440,000 円、ろ過機保守点検 11,000 円 利用数 0 人 中学生以下 0 人、高校生以上 0 人（R1 2,024 人） （町民 1 人当たりの利用回数 R2:0 回、R1:0.30 回、H30:0.34 回、H29:0.26 回） ・夜間照明（管理業務委嘱）3,480 円 中学校及び朝日町野球連盟、Jr マラソンクラブにて使用 <p>【予算と決算の差引額が多い理由】 町民プール開設中止に伴い光熱水費（電気料金）が減となり、精算による年度末の戻入れ額が増加したため （水道料金は冬期間固定額のため事前に精算可能だったことから補正対応）</p>

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	9,363,000	決算額	7,544,667	差引額	1,818,333
-----	-----------	-----	-----------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○町民体育館については、コロナ禍のため、使用を制限せざるを得なかったことから、前年に比べ団体利用者は大きく減少したものの（6,307→2,445）、個人利用者は前年より増加（2,152→2,389）している。</p> <p>○常に安全な施設管理を行うように努め、町民のスポーツ活動支援に寄与することができた。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・施設及び備品の現状把握に努め、実施計画に基づき計画的に管理、整備をしていく。

令和3年度 朝日町教育委員会「事務事業点検・評価報告書（令和2年度分）」

令和3年8月

〒990-1442

山形県西村山郡朝日町大字宮宿 2265 番地

朝日町エコミュージアムコアセンター「創遊館」内

朝日町教育委員会 教育文化課

電話 0237-67-2118 Fax 0237-67-3375
